

足立区の景況

これは、令和8年3月上旬～令和8年4月中旬に調べた区内中小企業の景況動向と、これから先3ヶ月間（令和8年4月～6月）の予想をまとめたものです。

調査対象 製造業 130社 小売業 64社
建設業 70社 サービス業 55社
運輸業 41社
調査方法 面接聴取、郵送アンケート（運輸業）
調査機関 一般社団法人 東京都信用金庫協会
分析・作成 株式会社 東京商工リサーチ

	好調 ←			普通	→ 不調			
製造業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下	
小売業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下	
建設業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下	
サービス業	15以上	14~5	4~5	-6~-15	-16~-25	-26~-35	-36以下	
運輸業	15以上	14~5	4~5	-6~-15	-16~-25	-26~-35	-36以下	

製造業

業況は1ポイント減の-11と前期同様の厳しさが続いた。売上額は1ポイント増の-6と前期並の減少が続き、収益は5ポイント増の-7と減益幅が幾分縮小した。価格動向は、販売価格は増減なく25と前期並の上昇が続き、原材料価格は2ポイント増の50と上昇が多少強まった。

小売業

業況は2ポイント減の-12と低調感がやや強まった。売上額は3ポイント増の-3、収益は4ポイント増の-14とともに減少・減益幅がわずかに縮小した。価格動向は、販売価格は2ポイント増の33と上昇が幾分強まり、仕入価格は5ポイント減の41と上昇幅が若干縮小し、在庫は6ポイント減の-5と適正水準から品薄に転じた。

建設業

業況は7ポイント増の23と好調感が大きく強まった。売上額は10ポイント増の22、収益は15ポイント増の19とともに増加幅がかなり拡大した。価格動向は、請負価格は増減なく25と前期並の上昇が続き、材料価格は5ポイント増の50と上昇傾向をやや強めた。在庫は2ポイント増の5と過剰感が若干強まった。

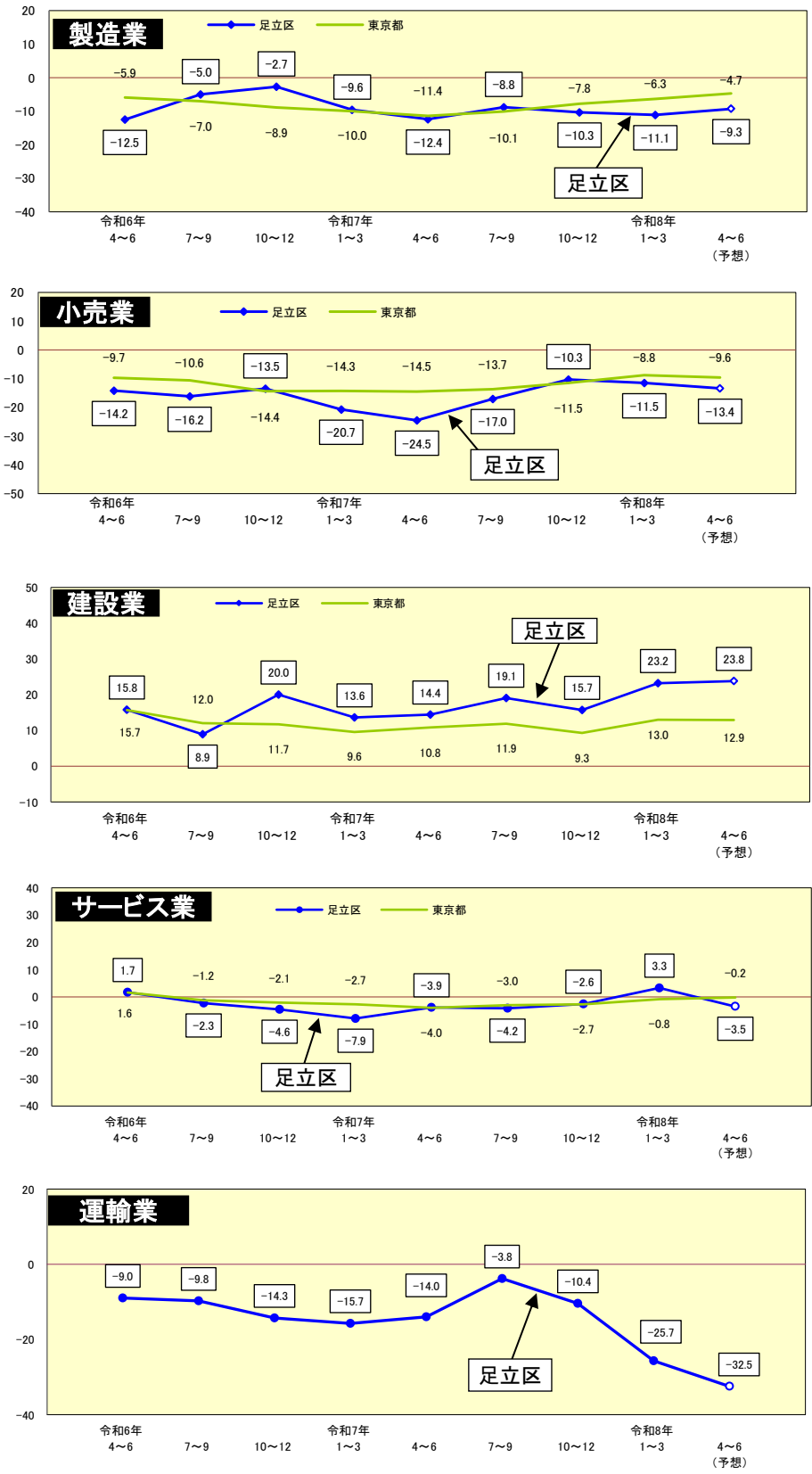
サービス業

業況は6ポイント増の3と好転した。売上額は2ポイント減の9とわずかに後退し、収益は5ポイント増の8と増加幅が若干拡大した。価格動向は、料金価格は2ポイント増の15と上昇幅が幾分拡大し、材料価格は6ポイント減の21と大幅に落ち着きを見せた。

運輸業

業況は16ポイント減の-26と厳しさが大きく増した。売上額は7ポイント減の-6と増加から減少に転じ、収益は6ポイント減の-15と減益幅が大幅に拡大した。価格動向は、サービス提供価格は1ポイント減の2と前期並となり、仕入価格は37ポイント増の68と上昇が極端に強まった。

足立区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



足立区 業種別 経営上の問題点

順位	製造業	小売業	建設業	サービス業	運輸業
第1位	原材料高 43.1%	同業者間の競争の激化 28.1%	材料価格の上昇 54.3%	人手不足 34.5%	人手不足 65.4%
第2位	売上の停滞・減少 30.8%	売上の停滞・減少 25.0%	人手不足 37.1%	人件費の増加 25.5%	仕入価格の上昇 38.5%
第3位	同業者間の競争の激化 20.0%	大型店との競争の激化 20.3%	売上の停滞・減少 22.9%	売上の停滞・減少 18.2%	人件費の増加 34.6%
第4位	人手不足 16.2%	人件費の増加 18.8%	同業者間の競争の激化 21.4%	利幅の縮小 14.5%	車両の老朽化 26.9%
第5位	利幅の縮小 14.6%	人手不足 14.1%	下請の確保難 17.1%	材料価格の上昇 10.9%	売上の停滞・減少 19.2%

足立区 業種別 重点経営施策

順位	製造業	小売業	建設業	サービス業	運輸業
第1位	販路を広げる 53.8%	経費を節減する 56.3%	人材を確保する 47.1%	経費を節減する 50.9%	人材を確保する 70.4%
第2位	経費を節減する 48.5%	品揃えを改善する 26.6%	経費を節減する 41.4%	人材を確保する 36.4%	経費を節減する 48.1%
第3位	人材を確保する 16.9%	売れ筋商品を取り扱う 14.1%	販路を広げる 28.6%	販路を広げる 34.5%	車両を新規導入・修繕する 29.6%
第4位	情報力を強化する 15.4%	店舗・設備を改装する 7.8%	情報力を強化する 17.1%	宣伝・広告を強化する 18.2%	労働条件を改善する 25.9%
第5位	新製品・技術を開発する 9.2%	仕入先を開拓・選別する 6.3%	労働条件を改善する 5.7%	技術力を強化する 9.1%	販路を広げる 11.1%

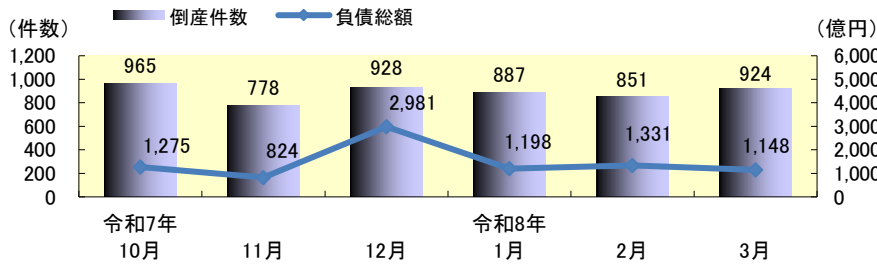
注) サービス業は平成22年1~3月期からデータの継続性を重視するため、一般社団法人東京都信用金庫協会が調査したデータを使用しています。
 ※運輸業のDI値について 令和6年度より、令和4年度以降の運輸業のDI値として修正値を参照しています。
 ※来期予測について 今後の見通しについては、社会情勢等の影響により実態と差異が生じる可能性があります。

全国、東京都、足立区の企業倒産動向（令和8年1～3月期）

【(株)東京商工リサーチ調べ】

1. 全国の倒産動向

(1) 概況：直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



全国の倒産動向は、今期（令和8年1～3月）は件数では2,662件と前期（令和7年10～12月）より9件減少し、負債総額では3,677億円と1,403億円減少した。

(2) 大型倒産

- ① (株) 福島建設資材/福島県/私募債発行ほか/33,290百万円/破産
- ② (株) 三河カントリークラブ/愛知県/ゴルフ場経営 /12,000百万円/民事再生法
- ③ 札証物産(株)/北海道/建売住宅販売ほか/ 6,462百万円/取引停止処分

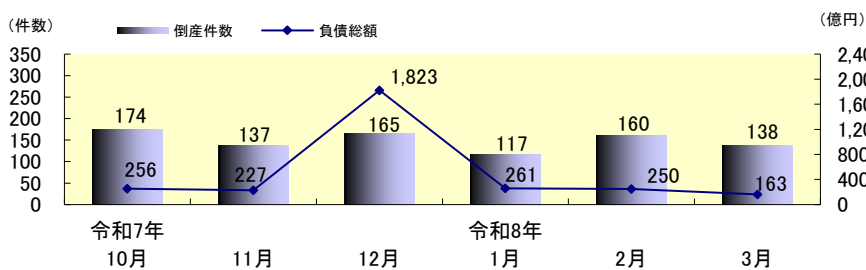
2. 東京都の倒産動向

(1) 概況

	前年同期 令和7年 1～3月	前期 令和7年 10～12月	今期 令和8年 1～3月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	414	476	415	-12.8%	0.2%
負債総額(億円)	586	2,306	673	-70.8%	14.8%

※負債総額について、「億円」単位以下を四捨五入しているため、表とグラフで誤差がございます。

(2) 直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



東京都の企業倒産は、415件（前期比12.8%減）と前期から減少した。業種別にみると、製造業で倒産件数が増加している。負債総額は673億円（同70.8%減）と減少し、業種別にみると、サービス業が最多であった。

(3) 原因別の倒産動向

	前年同期 令和7年1～3月		前期 令和7年10～12月		今期 令和8年1～3月			
	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
放漫経営	45	59	46	1,544	56	95	21.7%	24.4%
過小資本	2	3	5	105	5	29	0.0%	150.0%
他社倒産の余波	37	58	30	22	36	93	20.0%	-2.7%
既住のシワ寄せ	48	74	64	211	54	283	-15.6%	12.5%
販売不振	261	367	304	361	245	163	-19.4%	-6.1%
売掛金等回収難	3	12	4	17	4	5	0.0%	33.3%
信用性低下	4	1	0	0	1	0	-	-75.0%
在庫状態悪化	0	0	0	0	0	0	-	-
設備投資過大	1	1	0	0	0	0	-	-100.0%
その他	13	8	23	43	14	3	-39.1%	7.7%
合計	414	586	476	2,306	415	673	-12.8%	0.2%

(4) 業種別の倒産動向

	前年同期 令和7年1～3月		前期 令和7年10～12月		今期 令和8年1～3月			
	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
製造業	19	104	29	82	30	75	3.4%	57.9%
卸売業	66	142	64	1,663	58	96	-9.4%	-12.1%
小売業	32	21	53	50	33	95	-37.7%	3.1%
サービス業	90	116	125	94	108	203	-13.6%	20.0%
建設業	45	45	45	140	41	77	-8.9%	-8.9%
不動産業	22	30	25	66	15	9	-40.0%	-31.8%
情報通信業・運輸業	71	49	71	91	69	52	-2.8%	-2.8%
宿泊業・飲食サービス業	44	21	40	34	39	18	-2.5%	-11.4%
その他	25	55	24	82	22	46	-8.3%	-12.0%
合計	414	586	476	2,306	415	673	-12.8%	0.2%

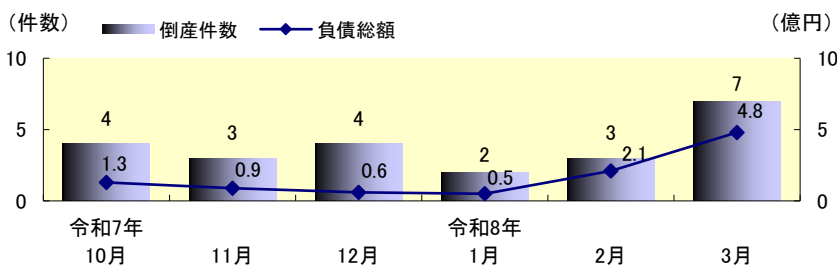
3. 足立区の倒産動向

(1) 概況

	前年同期 令和7年 1～3月	前期 令和7年 10～12月	今期 令和8年 1～3月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	20	11	12	9.1%	-40.0%
負債総額(百万円)	2,020	300	762	154.0%	-62.3%

※負債総額について、表は「百万円」単位、グラフは「億円」単位以下を四捨五入しているため、合算値に誤差がございます。

(2) 直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



足立区の倒産動向は、件数は12件（前期比9.1%増）と前期から増加した。負債総額は7.4億円と前期比約4億6,000万円増加した。業種別にみると、宿泊業、飲食サービス業で3件、サービス業、建設業、情報通信業・運輸業で2件ずつ、卸売業、小売業、不動産業で1件ずつ倒産しており、最多負債総額は不動産業の2億4,200万円であった。

(3) 原因別の倒産動向

	前年同期 令和7年1～3月		前期 令和7年10～12月		今期 令和8年1～3月			
	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
放漫経営	3	148	1	10	0	0	-100.0%	-100.0%
過小資本	2	350	0	0	0	0	-	-100.0%
他社倒産の余波	1	56	0	0	0	0	-	-100.0%
既住のシワ寄せ	3	572	1	28	2	82	100.0%	-33.3%
販売不振	11	894	8	189	8	570	0.0%	-27.3%
売掛金等回収難	0	0	0	0	1	60	-	-
信用性低下	0	0	0	0	0	0	-	-
在庫状態悪化	0	0	0	0	0	0	-	-
設備投資過大	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	0	0	1	73	1	50	0.0%	-
合計	20	2,020	11	300	12	762	9.1%	-40.0%

(4) 業種別の倒産動向

	前年同期 令和7年1～3月		前期 令和7年10～12月		今期 令和8年1～3月			
	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
製造業	1	10	1	50	0	0	-100.0%	-100.0%
卸売業	4	420	0	0	1	130	-	-75.0%
小売業	1	35	1	10	1	30	0.0%	0.0%
サービス業	1	20	4	69	2	87	-50.0%	100.0%
建設業	6	293	3	93	2	78	-33.3%	-66.7%
不動産業	0	0	1	28	1	242	0.0%	-
情報通信業・運輸業	6	1,229	0	0	2	66	-	-66.7%
宿泊業・飲食サービス業	0	0	1	50	3	129	200.0%	-
その他	1	13	0	0	0	0	-	-100.0%
合計	20	2,020	11	300	12	762	9.1%	-40.0%